

議長	事務局長	次長	係長	係員

## 復命書

令和元年 5月 21 日

三沢市議会議長 船見 亮悦 殿

三沢市議会 議員 馬場 騎一

三沢市議会 議員 小比類巻 雅彦



平成31年4月29日から令和元年5月8日にかけて、姉妹都市友好親善使節団としてカナダバンクーバー市及びリッチモンド市、アメリカ合衆国ワシントン州ウェナッチ市及び東ウェナッチ市を訪問しましたので、下記のとおり復命いたします。

### 記

#### (1) 平成31年4月29日(月)

三沢空港から羽田空港、成田空港と移動し、バンクーバー空港に向けて出発。空港到着後、現地ガイドと合流し、バンクーバー市内を視察（グランビルアイランド、スタンレーパーク、ギャスター）。

グランビルアイランドは、工場街だったエリアを再開発した場所。現在は、パブリックマーケットの他、食事やショッピングが楽しめるエリアとなっており、バンクーバー市民のほかに多くの観光客が訪れる観光スポットとなっている。

スタンレーパークは、123万坪という北米最大の面積を有する自然豊かな公園で、ジョギングやサイクリングなどを楽しむ市民の憩いの場となっているとともに、多くの観光客が訪れる観光スポットとなっている。

ギャスターは、日本人街に隣接しているレトロな街並みが残るエリアで、シンボルの蒸気時計が有名な観光スポットとなっている。

カナダは、100カ国以上の移民が集まり、民族、宗教も多様である。公用語は、英、仏2カ国語であり、3カ国語が話せることも珍しくない。また、バリアフリーも進んでおり、全ての歩道に段差がなく、車椅子対応となっている。

#### (2) 平成31年4月30日(火)

ブリティッシュコロンビア大学を視察。1908年設立。約6万5千人の学生を擁し、そのうち約1万6千人が外国からの留学生である。

リッチモンドオリンピックオーバルを視察。2010年に開催されたバンクーバー冬季オリンピックの会場。スケートリンクのほか、バスケットボールとバレーのコート、フィールドトラック、トレーニングルームを完備し、歴代聖火トーチの展示やオリンピッ

ク種目を体験できるブースもあるなど、地域向けのスポーツ施設となっている。また、ウイ爾チエアラグビー世界選手権が開催された施設であり、車椅子ユーザーが快適に利用できるエレベーターが設置されているなどアクセシビリティが整った施設となっている。

#### (3) 令和元年5月1日(水)

歓迎レセプション（於：ウェナッチ市役所）に出席。クンツウェナッチ市長、レーシー東ウェナッチ市長、ケルツウェナッチバレー三沢姉妹都市協会長、ウェナッチバレー三沢姉妹都市協会員、ホストファミリーの盛大な歓迎を受けた。そして、歓迎レセプションにつづき、中学生大使とホストファミリーの対面式が行われた。

歓迎夕食会（於：ウェナッチバレー・シニア・シチズンズ・センター）に出席。レーシー東ウェナッチ市長主催の歓迎夕食会に出席。塩釜神楽の披露や文化交流員によるピアノ演奏のほか、ウェナッチバレーの高校生が歌を披露するなど、ウェナッチバレーの方々と交流を深めた。

#### (4) 令和元年5月2日(木)

三沢庭園及びパングボーンメモリアルパークを観察。

リ一小学校で日本文化交流。中学生大使が4グループに分かれて、4年生の児童たちに折り紙の兜の作り方を英語で教え、文化交流員をはじめ大人団員も兜づくりのサポートをした。

スターリン中学校及びリ一小学校、カスケード小学校で塩釜神楽を披露した。

ウェナッチバレーカレッジ訪問。文化デー開催中のウェナッチバレーカレッジを訪問し、塩釜神楽、中学生大使と文化交流員による歌の披露のほか、文化デー参加者とともに三沢音頭を踊った。また、カレッジで日本語を学んでいる学生のクラスの講義に参加し、中学生大使が学生の名前を漢字に当てはめて習字を教えた。文化交流員の山田妙子氏が「風林火山」をテーマとした詩吟を即興で読む場面もあり、日本の文化を現地の学生に紹介するとても有意義な機会となった。その後、カレッジに留学している日本人の学生が住んでいる寮を見学した。見学した寮には日本だけでなく、様々な国から留学している学生が生活しているとのことであった。

#### (5) 令和元年5月3日(金)

三沢庭園の樹木維持管理指導（於：東ウェナッチ市）。一般交流員の堀内幸夫氏が三沢庭園を管理しているマスター・ガーデナー・プログラムの参加者でボランティアの方々9名に樹木の維持管理について指導した。

コロンビア川でのカヌー体験及びレベンワース（ドイツ村）観察。

クラシックカーパレード（於：東ウェナッチ市）。東ウェナッチ市で行われたクラシックカーパレードに参加。沿道にいる大勢の市民から盛大な歓迎を受けた。

クンツウェナッチ市長主催夕食会（於：ウェナッチ市）に出席。パイバスマーケットにおいて開催されたクンツウェナッチ市長主催夕食会に出席。クンツ市長をはじめ、ウェナッチバレー三沢姉妹都市協会員の方々と交流を深めた。

(6) 令和元年5月4日(土)

100周年を迎えたアップル・ブラッサム・フェスティバルのパレードに参加。歴代のクイーン・プリンセスや各地区から集まったマーチングバンドなども参加し、壮大なパレードであった。車から我々が手を振ると、沿道に集まった大勢の人々から「ハロー」、「ウェルカム」、「コンニチハ」などと、盛大に手厚い歓迎を受けた。また、パレードの前にトライアングルパークでバラの植樹式が行われ、その後、塩釜神楽を披露した。

(7) 令和元年5月5日(日)

ミス・ビードル号復元機格納庫見学及び小型飛行機体験搭乗(於:パングボーン空港)。  
神楽披露(於:ウェナッチメモリアルパーク)。アップル・ブラッサム・フェスティバルの最終日に、各種ステージパフォーマンスや食べ物やギフトブースが立ち並ぶ公園のステージで塩釜神楽を披露。大勢の観衆から拍手喝采を浴びた。

送別晩餐会(於:ウェナッチバレー博物館)。ウェナッチバレー三沢姉妹都市協会主催の送別晩餐会に出席。ウェナッチ市、東ウェナッチ市両市長をはじめ、ホストファミリーや協会員、8月に三沢市を訪問予定の方々と交流を深めた。また、中学生大使と文化交流員がパフォーマンスを披露するとともに、出席者全員で三沢音頭を踊り、今回のウェナッチバレー訪問を締めくくった。

(8) 令和元年5月6日(月)～令和元年5月8日(水)

シアトル・タコマ空港で米国を出発し、成田空港に到着。成田市内に宿泊し、翌日羽田空港から出発し、三沢空港に到着。

## 所感

今回の使節団派遣は、中学生大使10名、大人団員11名、塩釜神楽保存会9名、事務局6名の総勢36名での訪問となつたが、事故もなく、全員無事に帰国することができた。

中学生大使は、ホストファミリーや現地の方々と積極的に英語でコミュニケーションを図っていた。また、学校訪問やパレード、送別晩餐会など交流の機会が多くある中で、どれにも積極的な姿勢が見られ頗もしく感じた。異国の地でのホームステイや多くの交流の機会は、中学生大使にとって非常に貴重な財産になったものと確信している。この事業の人材育成面での意義についても改めて実感することができた。

文化交流員も中学生大使と同様に、英語での会話や日本文化の披露など積極的に交流を深めていた。幅広い世代の方々が交流に参加し、各々の特技を活用して交流を深めることは、市民協働の国際交流としてとても価値のあるものと感じた。特に塩釜神楽は、現地の新聞にも取り上げられるなど、アップル・ブラッサム・フェスティバル100周年を祝う節目の年に相応しいものであった。

今回訪問では、ウェナッチ市・東ウェナッチ市の両市長、姉妹都市協会関係者はもちろん、現地の市民など非常に多くの方々から盛大に歓迎いただき、三沢市とウェナッチバレーとの深い絆を改めて実感した。長きにわたりこれほどの交流を継続することは非常に困難な事であり、得難い関係性である。この姉妹都市交流に尽力している日米の関係者に心から感謝したい。今後においても、使節団の相互派遣やウェナッチバレーカレッジ英語研修派遣などを通し、この交流を末永く続けていきたい。

